

Work 3 ; スリランカ世界を想像表現しよう！

Work 1 と同じ①～⑤の写真を利用する。再びこの写真をスクリーンに映写、さらにもう一度この5枚の写真を各班で見ながら Work を実践する。

5枚の写真のうち4枚の写真を使って(どの写真でもOK)、スリランカの紙芝居をつくってみよう。2時間の授業で得た知識などをもとに、各班はスリランカの諸相をどのように表現するでしょうか？

〈Work ; 3〉 紙芝居をつくろう！

班別 Work 用紙

①～⑤の写真のなかで4枚を選んで、何かストーリーをつくって下さい。

スリランカについて、これまでに聞いた話をもとにそれぞれの意見を出し合ってみましょう。

- (例) 1 写真① 私はスリランカにいる多くの病気の人を助けるために毎日活躍している
2 写真② ふと立ち寄った村でこんな光景を見かけた。
3 写真③ 村の改善を要求するため、私はコロンボに向かった。
4 写真④ その筈なのに鉄道を乗り間違えてキャンディに来てしまった。おりから町はお祭りの真っ最中であった。

〈紙芝居〉

実際に各班がつくった紙芝居の代表例を下記に記載する。基本的には話しに想像力を交え、実際に自分を主人公としたショートストーリーを構成するように指示した。

☆B組2班 1 ③「コロンボに来ました！」

2 ④「まずはお寺の前に来ました。たくさんの方がいますが、みんな仏様にお参りに来ました。」

3 ⑤「そのあと海の方へ行くと、目の前にぼろぼろの家がありました。まわりを見ると…。」

4 ②「そこに住んでいた家族がいました。津波で家を失ったらしいです。かわいそうに…。」

結論「世界にはまだまだたくさんの方が家に住めなくて困っています。私たちもこれからどんな協力ができるのか考えてみたいです。」

☆B組10班 1 ③「ここはスリランカを中心部にはいるところです。」

2 ④「しかし、テロが起こっているのでお寺の前でも厳重な警戒がなされています」

3 ⑤「また、津波の被害も深刻で多くの方が亡くなったり家を失ったりしました。」

4 ②「このような中でもこの人たちのように毎日をけんめいに生きている人も多くいるのです！」

結論「②の写真でお母さんが小さな子供をキレイにしようと一生懸命抱えているのに感動しました。」

☆A組1班 1 ①「私の名は〇〇。この場所で働くうちにすてきな女性と出会った。」

2 ⑤「あの津波で彼女の家は失われたのだ。」

3 ④「私は彼女をなぐさめるためにお祭りに誘った。そして…。」

4 ②「私は彼女にプロポーズしたのだ。今では子供も2人いて貧しくても家族で仲良く暮らしている。」

結論「人生は、ドラマだ！」





(上の写真は授業で使用したさまざまなコンテンツを持った本校生徒会執行部の面々です)

〈総括〉

学習成果についてはスリランカを題材とした国際社会の問題提示という本来の目的は概ね達成できたと思う。第2回のワークについては従来から同様の方式を組み込んでいたこともあって順調に進行し、生徒の一人一人も積極的な姿勢で取り組むことができたと思う。

また、従来から本校生は「トライやるウィーク」でJICA兵庫のお世話になった生徒もいるなど、既にこうした開発教育の内容に対し関心の高い生徒も多くいた。これらの生徒のなかには実際に将来青年海外協力隊として活躍することを志望して準備している生徒もおり、全般的にこうした問題への関心は比較的高いといえるだろう。

それだけに今後は多文化共生の概念を如何に定着させ、開発教育の実践などの取り組みを一般化していくのか、それらの活動を本校以外の学校現場にどのように活用していくのかが問われることになるだろう。

☆スリランカからのメッセージ；学習指導案 1

I 諸単元

1；内容	3年社会(公民) 第4章地球社会とわたしたち 平成18年度JICA教師海外研修の報告を兼ね、スリランカという素材を活用することで地球規模に発生しているさまざまな問題についての考察をおこなう契機とする。
2；授業単元	教科書(「公民・ともに生きる」教育出版刊) 第4章 地球社会と私たち P144～、3；発展と停滞のはざままでと4；国境をこえた助け合い 上記の項目の理解を促進させ、特に南北問題の重要性や、海外援助の必要性などについて具体的な活動例を取り上げることで理解をすすめる事を目的とする。
3；単元	光り輝く島・スリランカからのメッセージ(その1) 「スリランカって知ってる? ～スリランカについて、まずチェックしてみよう～」
4；単元目的	まずはスリランカという国がどのような所にあるのか、基本的な知識を教えることと、あわせてどんな問題を有しているのかを考えさせる。
5；準備	パソコン及びプロジェクタースクリーン(スピーカー付) 冊子『光り輝く島・スリランカからのメッセージ』(各自1冊)、教科書、ノートなど

II 授業進行過程(1時間目)

段階	時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
挨拶 導入	1分 3分	「スリランカを知っていますか？」 *スリランカについての予備知識の有無を確認する。	*質問；スリランカの場所について 地図を板書し、正解を選択させる(ポイント) *質問；スリランカについて知っていることは?(ポイント) →地図をプロジェクターに映写し、場所を確認させる 冊子p5を開いて、全体的な姿を確認する
展開 1 開 発の 教基 育本 説明	1分 5分 5分	「スリランカを題材としてこれから2時間、何を学ぶのか」 *学習単元の目的を説明する 1；南北問題について 現在の世界におけるさまざまな問題と南北問題の関わりを重視する 2；海外援助の実施について 日本の海外援助、ODAの意味、JICAの活動などについての説明	単元の基本目的についての説明 今回と次回の授業実践の目的についての説明 1；南北問題について *質問；南北問題とは何か?(ポイント) *教科書p144を読ませる(指名) →ノートに南北問題の意味を板書させる(赤囲み) 2；海外援助の実施について *写真a・b、シニアボランティアの活動とコロombo大学での開発援助の実際を参考に見せる。 *教科書p146を読ませる(指名) →ノートにODAについての説明、JICAの活動についてのまとめを板書させる(赤囲み)
展開 2 写 真展 示	20分	「スリランカ百景」 *実際に現地で撮影してきたスリランカの写真をプロジェクターで展示する。	*上映する写真はほぼ研修の行程に従って展示する。 内容としては、現地の人々の生活の様子、風土、文化、食事、学校の様子などである。 *冊子の各頁を開きながら説明する。 →・食生活については冊子p3～4 ・学校生活については冊子p2 ・社会の様子や人々の生活については、特に冊子のp7～8の内容を補足できるような写真を使用し、スリランカの現実についての理解をすすめる。
展開 3 確認	8分	「スリランカについてのチェック！」 *ここまでの説明をもとにして、各自でスリランカ知識をチェックしてもらう	*冊子p6のスリランカ度チェックを参考にする。 あらかじめ選択肢を用意する。そのうえでどれにあてはまるのかを選択させる。 →10問の質問に対し、最多正解者にポイント授与
総括	2分	次回の予告	スリランカを題材としたワークショップを次回の授業で実践することを予告

☆スリランカからのメッセージ；学 習 指 導 案 2

II 授業進行過程(2時間目)

段階	時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
挨拶 導入	1分 3分 1分	「スリランカを知っていますか？」 * 前回実施したスリランカについての知識をもう一度確認する。 * 説明終了後、班別に分かれる	* 特にスリランカの問題点についてを解説 → 冊子 p 8 毎日新聞社説を読ませる(指名) * 班別に着席
展開 1		〈Work 1〉 「スリランカの諸相を映し出す5枚の写真」	* ワークの要領は別紙 使用する写真は①～⑤ いずれも班ごとに写真の内容について考えさせる。
展開 2		〈Work 2〉 「スリランカの文化などを映し出す5つのコンテンツ」	* ワークの要領は別紙 使用する資料は⑥～⑦ いずれも班ごとに質問の内容を考えさせる → 班ごとに答えを出させ、解答を発表する
展開 3		* Work 1 の解答 スリランカの社会の問題について考える ①協力隊の活動と医療現場の実態 ②スラム街の現状 ③都市部における治安の実態 ④仏教文化と地方の治安の実態 ⑤スマトラ沖地震の津波被害の実態	* Work 1 の解答を班ごとに答えさせ、そのあとに解答を発表する。それぞれの写真が意味するスリランカの現状に関する問題点を取り上げる
展開 4 総括		〈Work 3〉 「スリランカの諸相を想像し、自分たちなりの世界で表現してみよう」 Work の発表 まとめ 感想文の記入と提出 挨拶	* ワークの要領は別紙 ①～⑤の写真を活用し、それぞれの班で旅人(トラベラー)のショートサイズ紙芝居を作成する。 → 各班で物語を作成し、そのうちの1～2班程度には実際に発表してもらう。 * まとめは開発教育の目的を中心に簡潔な形で実施 特に実際の青年海外協力隊の活躍など → 3年生に対しては現地の高校生の話も(冊子 p 1)

〈参考写真 a, b〉 ①～⑤については別紙に掲載

a



b

